

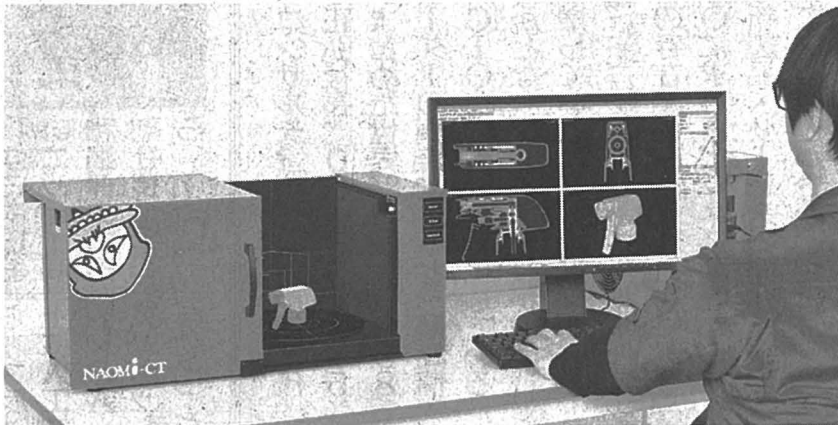
当社記事が掲載されました

産業用CT 無料体験

2018年11月5日付
9面に掲載

対象製品その場で診断

アールエフ、全28事業所で



【長野】アールエフ(長野市、丸山次郎社長、026・225・7700)は、産業用X線CT(コンピューター断層撮影装置)を無料で試せるサービスを始める。全国28事業所に順次、体験スペースを開設。利用者は持ち込んだ工業製品などをその場で診断できる。非破壊で対象物を観察する装置を身近に感じてもらうことで、同装置の拡販と今後の製品開発に役立てる。

北海道、鹿児島などアールエフの各事業所に開設する産業用X「さんぎょうCT診断線CT「Nセンター」には、3次元AOMI(元3D)画像によって検査する同社のX線CT」

CT「NAOMI-CT」を設置する。操作に資格は不要で、子どもから大人まで簡単な説明を受けた後は自由に使える。

対象物は幅250mm×奥行き250mm×高さ230mm以内。100万円(マイクロは100万分の1)単位で対象物の内部を計測できる。1枚の撮影にかかる時間は約45秒。金属製品、食品、玩具など、さまざまな対象を想定。工業製品の場内、内部観察や製造不良の原因になる空気

孔の診断などを見込むが、用途は限定しない。

利用時間は土曜・日曜日を含め、11-19時。会議室を用意するほか、撮影データを持ち帰ることも可能。28カ所合計で1日12組の利用を見込む。

アールエフは2012年に歯科用のCTを開発して発売。市場には高額なCTが多い中、同社は16年に3Dの工業用X線CTを280万円で製品化し、車、食品などのメーカーに納入実績がある。近年、大学の研究や食品、スポーツ用品の開発など、同社が当初想定していなかった分野からも引き合いが増えるなど、利用のすそ野が広がっている。